

## ⑬環状交差点（ラウンドアバウト）の整備 （主）浜田八重可部線防災安全交付金（改築）事業

受賞機関 島根県 浜田県土整備事務所

**キーワード** 環状交差点、ラウンドアバウト、安全運転講習会、安全性・利便性の向上

### 全建賞審査委員会の評価ポイント

安全な環状交差点の整備。当交差点は形状等から事故の危険性が高いと考えられる箇所、一般的な対策ではなく、全国的にも100程度しかないラウンドアバウトを積極的に導入した点や、交通量、土地利用状況等の適用性の検証、注意喚起のための施設設置、警察による安全指導など丁寧な検討・取組を行った点が評価された。

### 1. はじめに

環状交差点（以下、「ラウンドアバウト」という）は、欧米諸国において普及しており、日本においても平成25年6月の道路交通法改正において環状交差点が規定された。

島根県では、令和元年6月より島根県浜田市佐野町内に位置する信号付き十字交差点について、安全性・利便性の向上を目的として、ラウンドアバウトに形状改良する工事に着手し、令和2年11月21日より供用を開始した。

### 2. 事業の概要

当該交差点は、朝夕の通勤時間帯の交通量は増大する一方で、その他の時間帯においては比較的スムーズに通行でき、信号待ち時間が長く感じられることもあった。また、青信号から赤信号に変わる寸前での無理な進入や、高いスピードでの通過などが生じており、事故等も発生していた。これらの改善のために、交差点設計を行い公安委員会と協議を行ったところ、交通実態の状況などからラウンドアバウトの導入を推奨され設計検討を開始した。その後、地元説明を実施した後に、用地買収・改良工事に着手し、令和2年11月21日に完成・供用開始を行った。

工事実施においては、ラウンドアバウトは全国的にも事例が少ないことから、安全性向上に重点を置いて検討・対策を行った。対策として「速度抑制」「誤進入防止」「注意喚起」「逆走防止」に主眼を置き、全国の先行事例の



環状交差点完成写真及び供用開始時の開通式の様子

収集、各自治体への聞き取り調査等を行い、効果的と思われる対策を選択して採用した。また同時に、安全運転講習会を開催し、実物大の模擬ラウンドアバウトを用いた走行体験をしてもらうなど、環状交差点の交通ルール等の理解促進に努めた。



安全運転講習会の状況（実物大の模擬走行体験等）

### 3. 事業の成果

交差点供用後に交差点通過速度調査、周辺住民に対するアンケート調査を実施した。その結果、交差点通過速度は、交通量の多い主方向では改良前に対して5.5km/h（16%）の速度低下が見られ、アンケート結果では約8割が「従前より遅くなった」と感じており、定量的・定性的な両面において速度低減効果が確認された。また「交差点の安全性」では64%が向上した、「通過時間の短縮」では77%が信号待ち等が短縮されたと回答されており、安全性・利便性共に大きく改善された。

### 4. おわりに

アンケートでは、安全性・利便性が向上したという評価を頂いた一方、危険（ヒヤリハット）の経験をしたとの意見も頂いたことから、今後、公安委員会や地域住民と協力し、更なる安全向上対策に向けて検討・実施して行く予定である。

最後に、工事関係者の皆様、関係機関の皆様、そして何よりも地域住民の皆様のご理解・ご協力により、全国的にも事例の少ない工事を、極めて短期間で完成出来たことに、この場をお借りしてお礼申し上げます。